

国語

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（平野啓一郎「私とは何か 『個人』から『分人』へ」による。ただし、一部改変してある。）

問1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 空欄

I

III

 のそれぞれに入る最も適当な語の組み合わせを、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | | | | |
|---|------|-------|--------|---|------|-------|--------|
| ア | I 否定 | II 肯定 | III 否定 | イ | I 肯定 | II 否定 | III 否定 |
| ウ | I 否定 | II 否定 | III 肯定 | エ | I 否定 | II 肯定 | III 肯定 |
| オ | I 肯定 | II 否定 | III 肯定 | | | | |

問3 空欄

A

 に入る最も適当なものを、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア そして イ しかし ウ だから エ つまり オ 例えば

問4 文中の小説家・森鷗外の代表作を、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 五重塔 イ 武蔵野 ウ 浮雲 エ 高瀬舟 オ 草枕

問5 傍線部1「『子は親の鏡』」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問6 傍線部2「友達同士の分人化が正常に起きている証拠だ。」とあるが、なぜそのように言えるのか、説明せよ。

問7 傍線部3「不毛な『本当の自分』探し」とあるが、「本当の自分」を探すがなぜ不毛なのか、説明せよ。

問8 傍線部4「その逆説」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（若松英輔^{わかまつ えいすけ}）「読まない本『言葉の贈り物』による。」

問 1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問 2 二重傍線部「のつびきならない」の意味を答えよ。

問 3 空欄

I

・

II

 に入る最も適当な語を、次のアゝキの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

ア だから イ ところで ウ すると エ むしろ オ しかし カ つまり キ 例えば

問 4 傍線部 1 「熱情というのとは比喩ではない。」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問 5 傍線部 2 「自分のなかでうまく整理できていない事象」とあるが、筆者が父との関わりの中で抱いていたこのことに当てはまらない事象は何か。次のアゝエの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 私が父に本を買うのを止めてはどうかと提案しているのに、父はそれに対して理由にもならないことを話してくること。

イ いくら本が好きだとしても、父が家計に余裕がないことを知っていながら読みもしない本をじつに多く買っていること。

ウ 父と同じ状況に置かれていたなら自分も父と同じような行動を取るのではないかと思いつつ、父の説得をしていること。

エ 年老いた父は自由に暮らせばよいと思う一方で、父も仕送りしている息子のことを少しは理解して欲しいと思っていること。

問 6 傍線部 3 「そうした一語」とあるが、それは何を指すのか。文中の語を使って答えよ。

問 7 傍線部 4 「このとき経験した心持ち」とあるが、それはどういう心持ちか、説明せよ。

問 8 傍線部 5 「生きている死者である父」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。